

ごみはすべて資源 三豊市の新しいごみ処理方式 審査委員会から処理業者が推薦される

三豊市の新しいごみ処理について、昨年11月17日から本年1月11日までの期間で「次期ごみ処理業務委託候補者」の公募を行い、去る1月17日、5人の専門家によって構成する三豊市次期ごみ処理業務委託候補者審査委員会により審査が行われ、株式会社エコマスターを候補者として適当と認め、市長に対して報告・推薦が行われました。

公募の趣旨

公募は昨年決定した方式で、処理方式は「トンネルコンポスト方式（固形燃料原料および肥料原料の製造）」、運営方法は「民設民営を基本とする」を実現できる民間事業者の提案を募集し、三豊市の一般廃棄物のうち「燃やせるごみ」の処理を委託する事業者の候補者を決定するため実施したものです。

応募

応募は1社からでしたが、1社であっても三豊市のごみ処理業務を委託する事業者として適当かどうかは審査する必要があるので、専門家による審査委員会を設置し、慎重な審査が行われました。

審査

審査は、まず提案者からパワーポイントによる説明を行い、その後、質疑応答を行いました。なお、技術提案書については内容が詳細にわたるため、事前に、各審査委員において予備審査を行いました。



▲パワーポイントを使って提案者から説明

審査委員

役職	氏名	備考
審査委員長	掛川 寿夫	香川大学工学部教授
審査委員	浮田 正夫	山口大学名誉教授
〃	嘉門 雅史	香川高等専門学校校長 京都大学名誉教授
〃	村尾 俊二	中小企業診断士
〃	持田 悦夫	(社) 地域環境資源センター上席研究員

(敬称略)

報告・推薦の概要

審査委員会からの報告・推薦書は、次のような内容でした。

【抜粋】

三豊市次期ごみ処理業務委託候補者募集事業において提出された書類お



▲専門家により慎重な審査が行われました

記

よびヒアリングに基づき、本日、市長から委嘱を受けた5人の審査委員により審査を行った結果、次の提案者を三豊市次期ごみ処理業務委託候補者として適当と認めたので、報告とともにご推薦いたします。

1. 推薦する提案者

住所

香川県観音寺市大野原町
福田原241番地1

名称

株式会社エコマスター

代表者の氏名

代表取締役 海田周治

代表取締役 三野輝男

2. 選定の理由

本提案は、三豊市新総合計画、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画およびバイオマスタウン構想と整合しています。処理方式は、ヨ

ロッパで確立されている技術を基本としたトンネルコンポスト方式を採用したものであり、国内初の新しい廃棄物処理のビジネスモデルとして非常に期待されるものです。

本審査において、技術力、環境対策、安定的な管理体制、コスト、肥料・固形燃料の上市化（注1）について、概ね妥当であるとの理解を得ました。ただし、環境面（臭気、騒音、作業環境等）については、今後とも十分な配慮が必要であると考えます。

なお、若干の留意点を次に列記します。

① 処理後に、肥料・固形燃料として搬出される原料の質保証管理およびシステム内の水質管理を適宜実施されたい。

② 三豊市への提案の内容が、今後確実に実行されているかを継続的にチェックしていく体制を構築されたい。

今後の取り組み

審査委員会から推薦を受けた株式会社エコマスターについては、次期ごみ処理業務の委託候補者として正式に選定するための手続きへと進みます。この施設の建設位置は決定していませんが、三豊市内に建設することになります。三豊市民の家庭から出たごみを処理する施設となりますので、三豊市としては、施設建設に関係する市民の皆さんに対する説明など、適切に対処してまいります。

（注1）
上市化：市場に出すこと

▼問い合わせ
バイオマスタウン推進室
☎73・3028